

1

就職状況

大卒就職率が97.3%で過去最高水準

厚生労働省は5月20日、「大学等卒業者の就職状況調査」を文部科学省と共同で取りまとめた。それによると、2016年4月1日時点の大卒の就職率は、前年同期比0.6%増の97.3%で、5年連続で改善し、1997年4月の調査開始以来、過去最高を更新した。また、厚生労働省は同日、平成27(2015)年度の「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・内定状況」も発表。高校生の就職内定率は99.1%と前年同期比0.3%上昇し、1991年3月卒業生以来25年ぶりの高水準となった。

大学等卒業者の就職状況

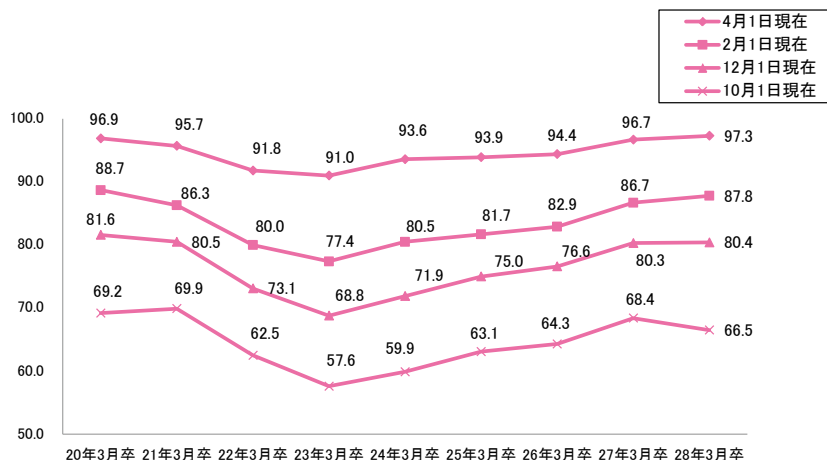
大卒者就職率は調査開始以来最高値を更新

厚生労働省・文部科学省が共同で取りまとめた「大学等卒業者の就職状況調査」によれば、大学等（大学、短期大学、高等専門学校）を合わせた就職率は、2016年4月1日時点で、前年同期比0.8%増加し97.5%となった。専修学校を含めると97.4%（同0.9%増）となっている。

大学の就職率を見ると、前年同期比0.6%増の97.3%となり、1997年4月の調査開始以来、過去最高の水準となった（図）。このうち国公立大学の就職率は、97.1%（同0.6%減）、私立大学は、97.4%（同1.1%増）となっている。厚労省担当者は、「景気回復を背景として、学生側が秋以降もあきらめずに就職活動を続けた」ことが高い就職率につながったなどとしている。

短期大学の就職率は、97.4%（前年同期比1.8%増）。高等専門学校及び

図：就職（内定）率の推移（大学）



専修学校の就職率は、それぞれ100.0%（前年同期比増減なし）、97.0%（同2.3%増）となった。

大学生の就職率を男女別に見ると、は男子が96.7%（前年同期比0.2%増）、女子が98.0%（同1.1%増）となっている。そのうち、国公立大学では、男子が96.0%、女子が98.3%であり、私立大学では、男子が96.9%、女子が97.9%となっている。

文系・理系別（大学生）では、文系の就職率は97.1%（前年同期比0.6%増）、理系の就職率は98.2%（同1.0%増）となっている。

地域別（大学生）では、中部地区の就職率が最も高く98.3%（前年同期比1.0%増）となっている。

「大学等卒業者の就職状況調査」は、全国の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校のなかから、設置者・地域などを考慮して抽出した112校の6,250人を対象に実施したもの。調査は、毎年、10月1日、12月1日、2月1日、4月1日時点——の年4回実施し、結果は翌月に公表される。

高校・中学新卒の就職内定状況

高卒者就職内定率も99.1%の高水準

一方、厚生労働省が取りまとめた「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・内定状況」によれば、高校新卒者の就職内定率は99.1%となり、前年同期に比べて0.3%の増となった。高校新卒予定者に対する求人数は35万3,000人で、前年同期に比べ11.7%の増加。これに対し求職者数は17万3,000人で、前年同期に比べ1.0%増加した。求人倍率は2.04倍となり、前年同期比0.19%の増加となった。

なお、中学新卒者の就職内定率も72.6%で、前年同期比0.5%の増加となっている。

「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・内定状況」は、2016年3月に高校や中学を卒業した生徒について、2016年3月末現在の公共職業安定所（ハローワーク）求人における求人・求職・内定状況を取りまとめたもの（対象は、学校やハローワークからの職業紹介を希望した生徒）。

（調査・解析部）